

五
今の世には法花經はさる

事にてをはすれとも時によて

事ことなるならひなれば

山林にましわりて讀誦

すとも將又里に住して

演説すとも持戒にて行

とも肱をやひてくやう

一、所在 滋賀縣栗太郡物部村今宿本
像寺

一、系年 身延御在山時代ノ御筆

一、筆蹟 假名交リ消息文

一、紙質 楮紙

一、員數 第五紙目一紙一幅

一、寸法 堅九寸七分 幅七寸八分

一、行數 七行 七十五字 裏ニモ文
字見ユ

一、遺文 御遺文集ニ未ダ見當ラズ

一、發見 昭和十年八月廿一日宗賢調
査之砌

一、裏書 寛文十二年子正月七日 玄
通院日元花押

元祖大士御消息一幅父宗滿
母妙學五十年忌寄附江州本
像寺以充永代靈貨之員焉
元祿五歲舍壬申年十月望日
京都本滿寺廿四世日榮花押

(藤田敦宏誌)

